

## 不審電話に関する事例

### 事案①

3月19日（水）午後12時頃、三股町大字樺山在住の被保険者（78歳男性）宅に保険年金課のサイトウと名乗る男から、「去年10月に保険料の見直しがあり、34,500円の還付がある。請求期限が切れてしまったので電話した。この後、郵便局の担当者から電話が来るので待っていてください。」との電話があった。

しばらくすると、郵便局コールセンターのヤマシタと名乗る男（1度目の電話の男と声がよく似ていた）から電話があり、「振り込むのに1,500円の手数料がかかるが、預金が50万円以上あれば手数料が無料になる。携帯電話を持ってイオンのATMに行き、6桁の暗証番号を入れてほしい。」と言われた。「ATMなら近くの郵便局にある。」と答えると、「郵便局の機械は古くて使えない。」と言われたため、不審に思い、「オレオレ詐

欺ではないのか。」と聞くと、「そんなことはありません。」と言われた。役場に確認すると伝えると電話が切れた。

その後、三股町役場町民保健課に問合せしたことで本事案が判明した。

**不審な電話等があった場合、広域連合、市町村後期高齢者医療担当または最寄りの警察へ御相談ください。**

**問い合わせ先：宮崎県後期高齢者医療広域連合**

**0985-62-0921（業務課）**